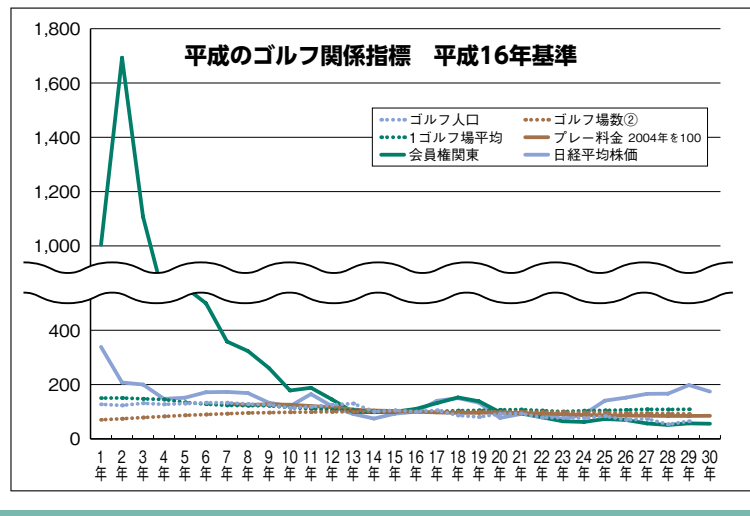


平成から令和へ

年表で振り返る平成の足跡



新天皇即位に伴い平成31年が4月30日で終了し、5月1日令和元年に改まった。

平成時代はバブル景気で始まり、ゴルフも空前のブームで始まった。その後は紆余曲折がありながらも「失われた」時間が続いた。ゴルフの人口が少なくなってきたのも

少子高齢化、成熟社会、多様性で世界の先進国は同じ課題を抱える。

新元号移行を記念して、本誌姉妹紙の隔日刊『ゴルフ特信』が業界の指標として年始にまとめているデータを平成丸ごと収録、その特信の主な記事と、世相も加え年表を作成し、平成を振り返った。

平成初期と現在の比較

平成元年当時のゴルフ場数は約1700コースであった。「平成特集指標一覧」と「ゴルフ参加率」を見てもらいたい。

当時は、第3次ゴルフ場建設ブーム（1次は昭和30年代、2次は40年代後半）にあり、規制緩和や過剰融資という金余りもあって、ゴルフ場はバブルの象徴となり会員権もあり得ないほど高騰した。ゴルフ人口の中心世代は40代前半の団塊の世代で、夜の街も活気にあふれていた。女性も銀座でゴルフスクールに通うOLの他、オヤジギャルと呼ばれて女性の社会進出が目立ち、ゴルフはスキーなどとともにファッション、お金持ちの象徴として若者に人気だった。成人男性は3割以上がゴルフにはまり、接待ゴルフが会社経費で盛んになった。

バブル絶頂期の平成2年には関東の会員権相場平均が3700万円となり、会員権と言えば1千万円超えも当たり前。それがバブル崩壊ではじけ飛ぶ。直近の平均が122万円前後であり、何とも会員権の価値は暴落したものだ。こ

男女・年代別のゴルフ参加率

ゴルフ参加率	男女全体	男性							
		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
		H1年 (%)	13.0	22.5	2.6	24.4	30.4	31.3	24.0
H29年 (%)	6.7	11.2	1.0	4.4	5.6	6.9	13.3	19.5	22.8
対1年 (P)	▲6.3	▲11.3	▲1.6	▲20.0	▲24.8	▲24.4	▲10.7	8.5	-
ゴルフ参加率 (女性)	男女全体	女性							
		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
		H1年 (%)	3.7	3.3	7.4	3.5	4.0	3.2	0.4
		H29年 (%)	2.2	0.0	0.5	1.3	0.7	2.4	3.4
対1年 (P)	▲1.5	▲3.3	▲6.9	▲2.2	▲3.3	▲0.8	3.0	-	

公益財団法人・社会経済生産性本部「レジャー白書」より

平成元年当時40代前半だった団塊の世代に注目。女性は今後50代が伸びる可能性

これら平成初期のバブルが反動で負の遺産となっている。個々の事象は年表にまとめた通り。平成初期と決定的に異なるのはインターネット、ITが普及し、

かつ日本は来年の東京オリンピック、インバウンド、ツーリズムと新たな胎動も期待される。今年には日本のゴルフ団体も女性ゴルフアーク創造を新たなテーマに加えているが、平成21〜24年まで女性のゴルフコース参加率が4年連続で3

ゴルフ業界関連の主な統計指標

年(年度)	年(年度)	ゴルフ人口 (万人)	ゴルフ場数 (①)	内新規 オープン	ゴルフ場数 (②)	ゴルフ場入場 者数(千人)	1ゴルフ場 平均(千人)	会員権相場 関東(万円)	関西(万円)	件数	法的整理数 コース数	負債総額(億円)	生鮮総 額	消費者物価指数 (CPI)	ゴルフ場相場 プレー料金	日経平均株価 (円)
1年	1989	1,310	1,640	79	1,722	89,963	52.2	2,199					88.9	94.1		38,916
2年	1990	1,270	1,726	86	1,818	95,193	52.4	3,708					91.2	96.9		23,849
3年	1991	1,350	1,835	109	1,926	98,809	51.3	2,425		2		4,066	93.9	99.4		22,984
4年	1992	1,310	1,934	99	2,028	102,325	50.5	1,772		2		1,626	96.0	101.9		16,925
5年	1993	1,340	2,024	90	2,127	99,364	46.7	1,224		3		4,304	97.3	103.3		17,417
6年	1994	1,370	2,095	71	2,200	97,833	44.5	1,093		6		2,377	98.0	103.9		19,723
7年	1995	1,370	2,159	64	2,273	97,512	42.9	785		3		2,120	98.0	103.5		15,154
8年	1996	1,320	2,222	63	2,342	99,651	42.5	708		4		1,216	98.2	103.3		14,711
9年	1997	1,300	2,256	34	2,370	100,529	42.4	571		2		4,501	99.9	104.2		15,259
10年	1998	1,180	2,288	32	2,404	96,032	39.9	390		9		5,094	100.2	104.2		13,842
11年	1999	1,220	2,312	24	2,421	93,228	38.5	412		27		6,416	100.2	102.8		14,212
12年	2000	1,290	2,341	24	2,443	90,000	36.8	217		25		12,076	99.8	102.6		13,786
13年	2001	1,340	2,355	17	2,452	90,175	36.8	217		26		14,464	99.0	101.1		10,543
14年	2002	1,040	2,359	5	2,460	88,409	35.9	215		63		30,239	98.1	100.5		12,261
15年	2003	1,080	2,360	2	2,457	88,376	36.0	219		132		20,192	97.8	100.0		10,677
16年	2004	1,030	2,363	5	2,453	85,307	34.8	241.7		82		19,239	97.7	99.8		11,489
17年	2005	1,080	2,363	0	2,446	86,046	35.2	288.6		68		14,004	97.6	99.8		11,477
18年	2006	890	2,359	1	2,442	88,235	36.1	334.1		77		5,781	97.7	99.6		11,261
19年	2007	830	2,358	0	2,442	89,020	36.5	303.2		52		6,199	97.7	99.5		17,225
20年	2008	950	2,359	4	2,442	90,786	37.2	214.4		48		3,949	97.9	99.6		15,307
21年	2009	960	2,356	2	2,445	91,642	37.5	205.3		28		3,949	99.1	99.7		11,177
22年	2010	810	2,352	0	2,432	88,061	36.2	173.8		26		1,485	96.9	99.6		10,546
23年	2011	800	2,350	1	2,413	84,327	34.9	141.7		27		2,085	96.6	100.0		10,228
24年	2012	790	2,347	0	2,405	86,745	36.1	136.5		26		3,110	96.6	99.3		8,395
25年	2013	860	2,322	0	2,385	86,746	36.4	160.8		26		672	96.9	98.9		10,395
26年	2014	720	2,305	2	2,366	86,505	37.0	162.1		10		525	96.9	100.8		16,174
27年	2015	760	2,275	0	2,317	87,753	37.9	124.5		14		1,111	99.5	100.3		17,450
28年	2016	550	2,260	3	2,282	85,780	37.6	112.1		17		745	100.0	100.0		19,033
29年	2017	670	2,250	0	2,257	85,538	37.9	125.0		19		330	99.7	99.8		19,933
30年	2018		2,235	0				122.0		9		539	100.2	99.8		22,764
										13			101.0	100.0		20,015

%を超えた時期があった。そう宮里藍や石川遼が時の人になった頃だ。当時、震災も起きたが、安さだけでは女性には動かない。今はネットが高価なウェアをレンタルする人が増えており、魅力ある新しさの基準も変わってきている。女

性のゴルフ人口を増やすには、女性をゴルフ場に向かわせる環境を整備する必要がある。平成元年は消費税導入の初年度であり、その後消費税増税が、政権交代を招き、その都度景気低迷を招いた。令和元年10月には10%

への消費税増税が予定されており、景気動向を注視したい。平成時代は実質30年間続き、今やスポーツ界のアスリートも平成生まれが主流。経営者も代替わりしており、新しい時代の変化に期待したい。

ゴルフ人口は財団法人・社会経済生産性本部発表の「平成12年以前は概数、②はNGK発表のゴルフ場利用税に基づく数

ゴルフ場数①は本誌基準(9H1600Y165H以上)で平成12年以前は概数、②はNGK発表のゴルフ場利用税に基づく数
ゴルフ場入場者数は一般社団法人・日本ゴルフ場経営者協会(NGK)発表で年度集計(3月〜2月末)
会員権相場(平均)は関東・関西のゴルフ会員権取引業協同組合発表(30年は12月27、28日、H1〜6年は一季出版雑誌「首都圏ゴルフ場四季報」2月関東平均
法的整理数はゴルフ場企業でコース数は既設のみ
日経平均株価は各年末(30年は12月28日)、消費者物価指数(平成27年基準)は統計局発表

平成ゴルフ場業界年表

(国内と海外の動き、世相、ゴルフ業界)

★平成元年 (1989)

〈全体〉1/7に昭和天皇崩御、元号が昭和から平成に。4月消費税3%スタート。Hirako。天安門事件。ベルリンの壁崩壊。

〈ゴルフ界〉依然ゴルフ場建設ラッシュ、11月調査で266件建設中。入場者数も好調、高額会員募集が目立つ。日本企業の海外ゴルフ場買収急増、農業問題深刻、消費税導入決定で対策急務。千葉県、計画中コース100件突破。週休2日制で各種対策。総理府調査でやりたいスポーツのトップはゴルフ。物品税廃止でボール等値下げ。ゴルフ業界1兆円産業と推計される。

★平成2年 (1990)

〈全体〉2月に円、株、債券の「トリプル安」でバブル経済が崩壊、会員権相場は暴落、一気に不動産不況へ。スーパーファミコン発売。ちびまる子ちゃん。オヤジギャル。アツシークン。

〈ゴルフ界〉ゴルフ場計画ラッシュで自治体が開発を凍結。総量規制、環境アセスも強化。千葉県は計画中ゴルフ場の農業使用全面禁止を打ち出す。関東会員権組合、相場表作成へ。韓国、台湾のゴルフ場が日本で募集。会員権で詐欺事件。ゴルフ場開発会社の倒産始まる。ゴルフフェット、3世帯に1世帯が保有。

★平成3年 (1991)

会員契約適正化法のきっかけとなった茨城CC事件



〈全体〉バブル経済がはじける。ジュリアナ東京。湾岸戦争。ソ連崩壊。

〈ゴルフ界〉会員権相場は下落の一途。通産省が預託金制事業の法的規制を検討。茨城CC事件。新規ゴルフ場オープン109コースで第3次ゴルフ場建設ブームの頂点に。外人キャディ採用やスパイクシューズ禁止コースも。キーパーの資格認定制度開始。日本芝草研究開発機構、発足。

★平成4年 (1992)

〈全体〉東京佐川急便事件。きんさんぎんさん。

〈ゴルフ界〉会員募集が停滞、同時に新規開発の凍結、撤退が始まり、ゴルフ場の倒産も出始める。会員は守る会を結成、ゴルフ場界の混乱が続く。地価税で小金井CC、相模原GCがVファイ大幅アップ。オリックスグループ、真里谷CCを20

8億で落札。環境庁、ゴルフ場排水調査。千葉県、森林無農業管理指針作成。全国会員権取引業団体連絡会発足。

★平成5年 (1993)

〈全体〉皇太子殿下・雅子さまご結婚。冷夏の影響でコメ不足に。曙が外国人初横綱。Jリーグ開幕。ドーハの悲劇。

〈ゴルフ界〉経済情勢は混沌、不況がゴルフ界を直撃、各地区で入場者数が大幅に減少。会員募集は不振。5月会員契約適正化法施行。開場2年遅延やアップダウンあるゴルフ場に預託金返還命令。環境庁、アセス導入に動く。設計者協会発足。NGKを会員制事業協会に指定。ゴルフ110番、開設。男女ツアー10試合で視聴率10%を超える。

★平成6年 (1994)

〈全体〉松本サリン事件。記録的猛暑で水不足。若貴ブーム。プレイステーション。同情するならカネをくれ。価格破壊。

〈ゴルフ界〉平成不況は5年10月が底と経済企画庁。しかし大打撃を受けたゴルフ業界にその実感はない。入場者も減少続く。定休日やセルフ営業して入場者増を狙う。電話による自動予約システム導入やポイント制度開始のコースも。暴力団と密接な人の入会拒否は可の判決。

★平成7年 (1995)

〈全体〉1月「阪神大震災」。「がんばろうKOBÉ」でイチロー所属のオリックス優勝。3月地下鉄サリン事件。インターネット。野茂英雄ドジャース入団。新世紀エヴァンゲリオン。

阪神大震災、ゴルフ場にも多大な被害



〈ゴルフ界〉阪神大震災で宝塚GCなど被災。バブル崩壊してズサンさが露呈したゴルフ業界、入場者も大幅ダウン。プレー料金の見直し、会員募集見直しに加え、預託金償還対策が本格化。余暇セン、6

年に続きゴルフ人口1370万人と発表(ピークとなる)。JTBやクレジットカード各社がエンターテインメントを強化。セルフ導入でキャディのリストラ進む。N.T.T系列が空き枠情報等を配信。小金井CC相場1億円割れ、秋に回復。ローン利用会員の預託金返還請求は不可。

★平成8年 (1996)

〈全体〉7月の祝日「海の日」。メークドラム。

〈ゴルフ界〉ゴルフ場のインターネット予約が始まる。客単価の下落で運営の抜本的な見直しが進み、セルフ化で乗用カーが普及。省力化でコンピュータの導入も進む。預託金償還問題は深刻、会員の返還訴訟も増加。O157猛威を奮い食堂から生もの消える。通産省、会員制事業適正化研設置、会員権分割で届出を指導。熊本国体からゴルフ正式種目に。

★平成9年(1997)

〈全体〉消費税が4月から5%となり消費が冷え込む。山一證券や拓銀等が破綻し経済界は混乱。たまごっち、タイガー・ウッズ世界ランク1位。

〈ゴルフ界〉返還できず預託金が社会問題化、会員権は下落の一途。東相模CCC会員、あさひ銀行に抗議行動。最高裁、コース改造で追加金要請は不可。償還ビジネス、買取会社動き出す。関東会員権組合が名変料値下げを提唱。ゴルフ場の客単価は低下し一層のリストラ減量経営が進む。ゴルフ場はセルフ化浸透し安全性高い電磁誘導式乗用カート普及。グリーンへのペント化工事増える。GPS導入やバスパットの動きも。ゴ連協中心に15団体で新年会。12月アークアライン開通。

★平成10年(1998)

〈全体〉経済界は長銀、日債銀が破綻、未曾有の不況となる。整理回収機構(RCC)、モラルハザード。長野オリンピック・パラリンピック開催。和歌山毒物カレー事件。夏の甲子園松坂大輔ノーヒットノーラン。

〈ゴルフ界〉ゴルフ場大手、日東興業が前年12月25日に和議申請し倒産(負債3455億円)、全国に激震が走る。首都圏では大雪が降り、秋は台風被害、入場者は一転、大幅に減少。3000万人目標に利用税撤廃署名開始。集中豪雨で福島、栃木に被害。豪雪被害、山梨県では30日以上周回。台風5号で河川敷長期閉鎖。東急不動産系9コースが高齢者優遇料金。償還問題解決に中条GC、株主会員制に

転換。相模野CC、名変料と預託金の殺方式導入。プレー権と返還請求権は分離可、ゴルフ場に返還命ずる判決。支配人会が落雷事故防止マニユアル。

★平成11年(1999)

日東興業倒産、以後債権者集会急増



〈全体〉iモード。だんご3兄弟。西暦2000年問題。平成の大合併。〈ゴルフ界〉サービサー会社がゴルフ場の債権買い取り。入場者は減少傾向、建設中も6〜7割は工事が中断。預託金は据置期間が満了し、

返還で会員とトラブル。預託金返還は年間限度額や抽選での償還増える。集客は困り込みが激しくなり、夏季集客では昼食付き料金が增える。HPも普及、予約受付も可能に。メタルスパイク禁止100コース超。ISO9001取得のゴルフ場も。太平洋Cがペブルビーチを売却。日本ゴルフツアー機構発足。文部省が利用税廃止を要望。ゴルフ110番 終。

★平成12年(2000)

〈全体〉シドニー五輪。Qちゃん。パラパラ。IT革命。プレイステーション2発売。二千円札発行。介護保険制度。〈ゴルフ界〉4月に民事再生法が施行、ゴ

ルフ場第1号はハッピーバレーGC。EIEインター破産。外資系がスポンサーに登場。米外資のローンスターが兵庫県のフォレスト三木GC買収。預託金問題は国会でも取り上げられ社会問題化。通産省調査、預託金は10兆円超え、償還ビークは2000年。RCC、ゴルフ場債権は1000億円超え。倒産、経営交代が急増、運営委託も増え、預託金償還から逃れる術にも利用。公務員倫理規程に「ゴルフ禁止」とあり16団体が削除要望。OB会員制度が普及。会員権相場、バブル期の10分の1。最高裁、破産管財人の据置満了前の返還請求にNO。新制度で会員権は時価評価、上場企業の特損計上多し。

★平成13年(2001)

〈全体〉アメリカ同時多発テロ。愛子さま誕生。USJ。東京ディズニーシー。狂牛病。

〈ゴルフ界〉民事再生法の施行で倒産は倍増。負債総額は1兆4000億円超えに。新世紀を迎えたが「9・11テロ」が起こり、世界的に経済は低迷、日本も不良債権を抱えた金融界が混乱。「ゴルフ100年祭」も盛り上がり。RCC、外資銀行系の再建スキームが着々と浸透。宮崎シーガイア倒産。戸井GCは森ビルが更生。柏GC9月で閉鎖。日東興業は外資のゴールドマンサックス(GS)が経営。

リップルウッド、シーガイアを162億で買収。千葉CCの外国人入会拒否は容認。10月にゴルフ100年祭式典。総理府調査、やりたいスポーツ、ゴルフ6位に転落。芝ゴルフ練習場、閉鎖。

★平成14年(2002)

〈全体〉日朝首脳会談、拉致被害者5名帰国。サッカーW杯日韓大会、ベッカム様。タマちゃん。住基ネット。

〈ゴルフ界〉不良債権の処理が加速し、倒産件数は過去最悪に。スポーツ振興など大手企業が続々倒れた。会社更生法改正案が成立。RCC、スポーツ振興に更生法申請、GSがスポンサー。地産は更生法申請。日東興業12社が民再申請。STT開発、民再申請。川奈ホテル、コクトが220億で買収。一方、長年の署名活動の成果で、来年から18歳未満70歳以上等は非課税に。東都埼玉、固定資産税減額に成功。最高裁、会員権差押者の返還請求権行使を容認。大阪高裁、経営受託会社にも返還義務ありと。償還ビジネスは弁護士法違反。カート事故でゴルフ場に賠償命令。NGK、外形標準課税反対で署名。松くい虫被害増加。長尺とデカヘッド規制。

★平成15年(2003)

〈全体〉マニフェスト。貴乃花引退。朝青龍がモンゴル人初横綱。新型肺炎SARS。イラク戦争。地上デジタル放送開始。年収300万円。

〈ゴルフ界〉日本経済は回復傾向となったが、ゴルフ場は入場者・売上とも依然低迷。大手の倒産が続く、法的整理は80社に。その中で外資のLSが36コース、GSが31コースを傘下にした。観光日本、日本ゴルフ振興、緑営グループ9社、相武総合開発6コースが民再申請。GS、運営会社アコーディアG設立。利用税一

部非課税、4月施行。韓国のコースが宮崎の3コースと提携。盗撮のロッカー荒らし逮捕。農業取締法、鳥獣保護法改正。17歳の宮里藍選手が30年ぶりにアマチュアで優勝。

★平成16年(2004)

〈全体〉鳥インフルエンザ。プレイステーションポーターブル。ニンテンドーDS。負け犬。冬ソナ。

〈ゴルフ界〉暖冬で始まり入場者が増加したが、後半は猛暑、台風に見舞われ低迷。10月の新潟中越地震では大被害も。レイクウッドGC等の特別清算に仰天。富士C、成井農林も特別清算。法的整理は78社に。日本ゴルフ振興の再生、LSが勝ち名乗り。仙台CC、移転決定、12月閉鎖。日本ロイヤルC3コース、韓国系の大河が買収。福島県に韓国からゴルフツアー客。モルガンスタンレー、都築紡の5コース傘下。日本土地建物が湘南観光開発を買収。前年高校生でプロ入り宣言した宮里藍や横峯さくらの活躍で女子プロ人気に。

★平成17年(2005)

〈全体〉景気の回復と共に入場者が増加し、練習場も利用者増加。不良債権は大規模案件が一段落し、法的整理がピーク過ぎる。4月、個人情報保護法施行。愛知万博「愛・地球博」。福知山線脱線事故。耐震偽装。小泉劇場。クールビズ。プロダ。萌え。

〈ゴルフ界〉都GC預託金3円の再生計画案成立。相模原GC等AED設置。LSのPGGIHが一部上場。私市はGSが

取得。PGM、日本ゴルフ振興に加え運営78コースに。千葉県でガソリン盗難多発。会員権相場復調、アップ率、年10%超え。愛犬同伴コンペ登場。オリックス、富士エクセレント5コース取得。公営コース、指定管理者制度活用。特定サービス産業実態調査速報出る。ドライバー飛距離規制。生体認証式の貴重品ロッカー発売。

★平成18年(2006)

〈全体〉悠仁親王誕生。イナバウワー。ライブドア事件。ハンカチ王子。格差社会。メタボ。

〈ゴルフ界〉コースの質を重視し、閉鎖して大改造するコース増える。乗用カーが全盛となり、ほぼ9割に普及。2大外資は傘下100コースに。アコーディアGも一部上場へ。ゴルフ場の公衆電話消える。PMC、ジャパンPGM、福崎東洋GC取得。ゴルフ場向けにセグウェイ。ゴルフ人口の減少は企業のゴルフ離れ(接待コンペ離れ)の他に所得格差の拡大、フリーター、ニート、人材派遣の定着も要因と。

★平成19年(2007)

〈全体〉第1回東京マラソン。船場吉兆ささやきおかみ。そのまんま東(東国原英夫)が宮崎県知事。ハニカミ王子石川遼15歳でツアー史上最年少優勝。中越沖地震。サブプライムローン問題浮上。

〈ゴルフ界〉投資目的の売買が増えミニバブルの様相。外資・韓国系、新興不動産ファンド等が進出する一方、伊藤忠等大手企業が次々に撤退。バブル崩壊以降の経営交代は1000コース超える。ゴル

フ場は異業種や同業種との提携が活性化。石川遼君がツアー最年少優勝、トーナメントが盛り上がる。福島県の外人客4倍増。総武都市開発3コース、民再申請。たかを観光、2度目の破綻。ホールインワン保険で詐欺。

★平成20年(2008)

石川遼が活躍。宮里藍とともに時の人に



〈全体〉リーマン・ブラザース経営破たん(リーマンショック)。ゼロ発売。ゲリラ豪雨。後期高齢者。アラフォー。ゆるキャラ。

〈ゴルフ界〉悪天候で2月は大幅減少、ガソリン高騰など経済不安もあり、入場者は前年比微減した。前年のサブプライムローン問題で日本も金融不動産が混迷、9月のリーマンショックで新興勢力が後退、業界再編が進む。8月末豪雨で関東河川氾濫。地震でみちのく古都CC一時休業。中間法人は一般社団へ。アコーディアは半日ゴルフを提唱し早朝・薄暮のプレーの充実の他に、東西でナイター営業を開始。飲酒運転の罰則強化や一時期のガソリン代高騰などの対策としてバスバック増える。ゴルフが流行。クラブ名統用で分割新会社に返還命令。西日本G研の縣所長がゴルフ場はCO2削減に貢献と発表。20年のギャラリー数、視聴率飛躍的な伸

び。

★平成21年(2009)

〈全体〉民主党が大勝、自民党が15年ぶりとなる野党に転落。新型インフル広まる。草食男子。派遣切り。ファストファッション。バラク・オバマ氏黒人初米大統領。

〈ゴルフ界〉異常気象で入場者は低調。上半期は北海道が減少、関西・中部で微増。九州北部、山口県で集中豪雨。定額給付金のプレー企画。平成生まれの石川遼選手が賞金王に。環境問題が注目されエコキャンプの他にロストボール回収も。GGはゴルフ場の生物多様性を調査。国内女子ツアーは34試合で男子より10試合多く女性ゴルフファン向け集客策増える。地域でのスタンプリーも増える。

★平成22年(2010)

〈全体〉iPhone大流行。記録的な猛暑。JALが破綻。女子会。イクメン。アジエングダ。AKB48。宮里藍選手世界ランキング1位。石川遼選手が18日世界6大ツアー最少記録。

〈ゴルフ界〉記録的な猛暑でゴルフ場の芝も被害。熱中症で作業員が死亡。ゴルフ場でもピンクリボン運動に協賛のコンペ始まる。1人予約のネット予約広まる。価格競争で格安おにぎりやワンコイン昼食増える。キャディ確保が容易になり完全キャディ付き移行のコースも。将来のゴルフ場需給を懸念してゴルフ場規模を縮小・閉鎖したり、他事業への転換を模索する動き出始める。ピザ発給緩和で中園からの集客を期待する声も。

★平成23年(2011)

世相を一変させた東日本大震災



全移行。

〔ゴルフ界〕東日本大震災による節電や自粛と福島第一原発事故での風評被害からゴルフ場は営業でも多大の影響を受ける。ゴルフ場やゴルフ団体も被災者、被災地の復興支援。(株)アコーディア・ゴルフの親会社のGSは1月に同ゴルフの株式を売り出してゴルフ場経営から撤退。アコーディアとシェア争いをしている米ローンスター(LS)系のPGMHはパチンコ機メーカー大手の㈱平和からのTOBに同意し12月5日に平和系列に移行。

★平成24年(2012)

〔全体〕iPS細胞。東京スカイツリー完成(東京ソラマチ)。終活。LCC。維新。
〔ゴルフ界〕福島県のゴルフ場は放射能汚染による実被害や風評被害が依然続く。また韓国と中国との間で領土問題が発生し韓国等からのゴルフアがさらに減少。日本経済は後半から失速もゴルフ場は前

〔全体〕3月

11日東日本大震災、福島第一原発事故。サッカーW杯などでしこじやパン優勝。紳。スマホ。帰宅難民。テレビがアナログから地デジへ完

年に大幅減少した反動で徐々に入場者数を取り戻す。太平洋クラブが1月に民事再生法申請、アコーディアGをスポンサーとしたプレバツケーJ型も会員が反発し再生案否決、更生手続きに移行。アコーディアGの役員間に内乱が生じて暴露合戦、PGMSイドのロシア等も参戦し、アコーディア株式のTOBで・両大手の統合狙う。

★平成25年(2013)

〔全体〕第2次安倍内閣でのアベノミクス。9月に2020年東京オリンピック開催決まる(お・も・て・な・し)が話題に。PM2.5。ブラック企業。今でしょ!。あまちゃん。倍返し。ご当地キャラ。

〔ゴルフ界〕前年秋からのアベノミクスで、株価や大企業業績がアップ。日経平均株価は1万5千円以上を付け半年間で5割以上上昇。日銀総裁による異次元の金融緩和も後押し。ゴルフ会員権も5月末の21週連続値上がりまで続く。年末にゴルフ会員権の損益通算廃止が突如新聞で報じられ、26年4月に適用廃止へ。平成24年7月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、太陽光発電(メガソーラー)がゴルフ場業界に一大変化をもたらす。PGM側提案のアコーディアのTOB・統合案は不成立。太平洋クラブは会員組織推薦のマルハンがスポンサーに。公益法人改革関連3法の関係で社・財団のゴルフ場は、25年11月末までに移行手続きを終了。

★平成26年(2014)

〔全体〕4月に消費税5%から8%に改定。レジェンド。妖怪ウォッチ。ディズニー映画「アナと雪の女王」。

〔ゴルフ界〕4月の消費税増税の一方で、3月末に個人のゴルフ会員権譲渡損の損益通算が認められなくなる(駆け込み申請が殺到)。ゴルフ場のメガソーラーへの転用も目立つ。4月の消費税値上げに伴い、ゴルフ場の年会費徴収で外税か内税かで混乱、会員権団体では外税。12月にはゴルフ場用地を利用したメガソーラー計画が100カ所に到達。アコーディア・グループは、シンガポールのビジネス・トラストを利用したアセットライト化を計画、8月1日に当初90コースの売却を完了。1月から「JGA/USGAハンディキャップインデックス」がスタート。世界アマチュアが日本の軽井沢72G東Cで開かれる。近年問題化の暴力団のプレーによる詐欺に関し最高裁が判決、県警もモデル案件作成。春先のPM2.5注意喚起、食品誤表示、ノロウイルス、デング熱とSFTS話題に。

★平成27年(2015)

〔全体〕外国人観光客(インバウンド)急増・中国客の爆買いが話題に。ラグビーW杯での日本勝利でラグビー日本代表が話題に、五郎丸ボーズ。マイナンバー。
〔ゴルフ界〕ゴルフ業界で長年懸念された「2015年問題」の年。2020年東京オリンピックのゴルフ会場の霞ヶ関CCC(埼玉)が10月から東コースを1年間クローズして改造。ゴルフ団体は「2015年問題」打開策で「ゴルフ離れに関する調査」。リクルートの「ゴルフマジ20」の第

2期、楽天GORAの20代対象「楽ゴルフ」などの施策。PGAは倉本昌弘会長が3月に500万人の新規ゴルフアを創出する提言発表。さらに「レジャー白書2015」のゴルフ人口720万人(前年比140万人減少)に業界は衝撃を受け、7月に開かれたゴルフ団体のサミット会議で20代へのゴルフ投資が効果的などと発表。各地のゴルフ連盟もゴルフアの育成のため群馬県と新潟県は4月からゴルフ振興基金の徴収を始め、千葉県も検討を開始。アコーディアのアセットライトの施策により、G場保有はPGMHが1位となる、その同社も8月1日付で親会社・㈱平和の完全子会社として再スタート。プレミアム商品券利用やふるさと納税返礼品でゴルフ場のプレー券を提

★平成28年(2016)

〔全体〕北朝鮮ミサイル。伊勢志摩サミット。熊本地震。ポケモンGO。SMAPの解散騒動。
〔ゴルフ界〕リオ五輪で112年振りにゴルフが五輪の正式競技に復活。米国のナイクがゴルフクラブ等からの撤退を発表。ゴルフ場利用税廃止問題は、有識者も参加した「全日本ゴルフ振興会議」で関係官庁に陳情も結果的に29年度税制改正には盛り込まれず、ゴルフ振興策ではゴルフ団体も連携協力した「大学体育のゴルフ授業」充実を目指した取組みも始まる。支配人会調べて女性のゴルフ場入場者比率は10・6%。九州では4月に熊本、大分両県での大地震で入場者が激減。メガソーラー(太陽光発電)に転用するG場

用地関連のメガソーラーは150カ所を突破も経産省が29年3月末までの接続契約未了を認定取消し条件と決めたことから、駆け込みに拍車がかかる。アコーディアはファンド会社のMBKパートナーズから買取提案され、TOBで上場廃止することに賛同。

★平成29年(2017)

〈全体〉森友・加計問題。将棋の藤井四段が話題に。米トランプ新政権の政策で混乱。インスタ映え。付度。プレミアアマフライデー。35億。

〈ゴルフ界〉1月早々から小池百合子東京都知事等の発言をきっかけに2020年東京五輪ゴルフ会場である霞ヶ関CC(埼玉)がプレッシャーを受け、3月に女性にも正会員入会を認める規約変更を行い、会場問題が決着。11月5日に米トランプ大統領が来日し、霞ヶ関CCで安倍晋三首相と9Hプレー、一時世界ランキング2位となった松山英樹プロが同伴しゴルフ外交が目される。ゴルフ競技やゴルフ場の衰退は世界的な課題で、R&Aは日本向けに横浜CC(神奈川県)で「サステナビリティセミナー、持続可能なゴルフコース管理・改造」を開催。ゴルフ場利用税廃止問題は、文部科学省(スポーツ庁)を中心に市町村の代替財源としてゴルフフェアから200円の寄付金、ふるさと納税への誘導案も提案。スポーツ庁のH28年度調査でゴルフ人口が615万人程度に減少、レジャー白書では衝撃の550万人と発表され、ゴルフ振興のより効果的な施策が望まれた。クラウドファンディング手法がゴルフ場再生ファ

ンドやゴルフ場でのサマー企画等にも広まる。JGAも選手強化策として後に総額3億円を目標に寄付金募集を始める。年間20コースのゴルフ場閉鎖、メガソーラー転用続く。(株)アコーディア・ゴルフがアジア系ファンド(株)MBK PartnersによるTOB成立し3月に上場廃止。観光庁はH29年1~10月の訪日客数を前年同期比18・3%増の推計2379万人と発表、ゴルフ場もインバウンドとの提携等の話題が多くなる。ゴルフ場の雇用状況も人手不足が深刻でNGKでは外国人労働者の受入れについての検討を開始。ストレスチェックや受動喫煙対策も話題に。

★平成30年(2018)



第1回IAGTO日本ゴルフリズムコンベンションが三重で開催

〈全体〉西日本豪雨。日大アメフト選手らのタックル騒動やスポーツ界のパワハラ問題。仮想通貨・ビットコイン。日産ゴーン会長逮捕。そだねー。

eスポーツ。

〈ゴルフ界〉新ゴルフルール施行前年に当たり、R&AとUSGAは2月20日に新しいワールドハンディキャップシステム(WHS)の統一化や、3月12日に新ル

ルを発表。国内ではJGAが和訳し11月12日から「2019年ゴルフ規則書」をネットで販売開始。世界的なゴルフ人口の減少に悩む世界のゴルフ界が、ルールの簡素化とプレーのスピードアップを目指して近代化。日本で最初のIAGTO(国際ゴルフツアーオペレーター協会)主催の「第1回IAGTO日本ゴルフリズムコンベンション」が10月に開かれ、ゴルフツアーリズム元年とも言える動き。「レジャー白書2018」ではゴルフ人口が670万人に回復し前年の衝撃の550万人より人口減少の危機感は薄まる。ゴルフ場入場者数は非課税化の「シニアバブル」の影響で入場者数は微減に留まる。アコーディアを傘下に持つMBKパートナーズが、オリックスからOGMの買収を発表、31年3月には平和・PGMグループを抜いてゴルフ場保有トップに躍り出る。ゴルフ場経営の大手グループへの集約化が進む。前方ティやGPSナビ導入、新スタイルや集客策も続々誕生。類似競技のフットゴルフやピッチ&パットのワールドカップ、ワンオンゴルフ協会提案の「Game54」が話題に。リソルゴルフ(株)は『はじめてのゴルフ』特許出願。小金井CCは10月18日を「キャディーの日」に制定。

★平成31年(2019)

〈全体〉イチロー引退。タイガー・ウッズ、マスターズで復活優勝。

〈ゴルフ界〉1月1日新ルール施行、一時ツアーでプロも混乱。ゴルフサミット会議、統一テーマに「女性ゴルフフェア創造」を追加。首都圏10県のH30年入場者、前

年比2・42%減。スポーツ庁のH30年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」、ゴルフ参加率7・4%でゴルフ人口695万人相当となり、前年比3割増。USGA、東京でイノベーションシンポジウム、省資源運営と運営革新提案。MBKパートナーズグループ継承の旧OGM、社名をネクスト・ゴルフ・マネジメントに変更へ。NGK、海外ゴルフ場視察旅行inタイの活動報告。

★令和元年(2019)

〈全体〉皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位、5月1日改元し「令和元年」に。日本でラグビーワールドカップ開催(9/20~11/2)。いきいき茨城国体。10月に消費税8%から10%へ改定、軽減税率制度導入。10月22日即位礼正殿の儀(国民の祝日)。

★令和2年(2020)

〈全体〉2月23日令和最初の天皇誕生日(国民の祝日)。東京2020五輪のゴルフ競技は霞ヶ関CCで開催



オリンピック(7/24~8/9までの17日間。ゴルフ競技は霞ヶ関CC(埼玉)で男子7/30、8/2、女子8/5~8/8。